

MacMP3

MacMP3 ユーザーズガイド



MacMP3 ユーザーズガイド

1999年8月

株式会社アクト・ツー

東京都杉並区和泉1-1-14

プロダクトマネージャ	Toshiyuki Kohno
エンジニアリングリード	Toshiyuki Kohno
キーエンジニア	Cabel Sasser Steven Frank Samuel K. Caughron
アートワーク	Jeremy Bailey Tae Yano Yojiro Wakabayashi Rina Katsuta
ドキュメンテーション	Hajime Kasaoka, Sayaka Marumoto
テストングリード	Nobuhiro Hasegawa
サポートリード	Sayaka Marumoto
マーケティングリード	Matthew Arney, Hajime Kasaoka
セールスリード	Yoshitaka Kagami
プロダクションリード	Ayako Watanabe

MacMP3 の開発にともない、関与頂いた全ての方々に感謝します。

© Copyright 1999, act2, Inc. All rights reserved.

MacMP3 は株式会社アクト・ツーの商標です。その他の製品名は各々の所有者の商標または登録商標です。

株式会社アクト・ツーは、万が一、本製品の使用により如何なる損害が生じてもそれを保証するものではありません。本ソフトウェアおよびアップルコンピュータ社のソフトウェアの使用に関するリスクはユーザーに帰属します。

目次

第 1 章	はじめに	2
MP3 とは？		2
著作権について		2
MacMP3 概要		2
エンコーダ		3
プレーヤ		3
第 2 章	インストール	4
システム要項		4
インストール手順		4
第 3 章	今すぐ作ってみよう！	10
音楽 CD から MP3 ファイルを作ってみる		10
■ 作成方法 1 ■ Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ		10
■ 作成方法 2 ■ プレーヤで音楽 CD を再生しながらエンコード		10
MP3 を聴いてみる		12
プレーヤの起動		12
プレーヤの基本操作		13
フェイスの選択		14
イコライザ		15
第 4 章	エンコードについて	16
エンコードとは		16
エンコード方法 1 音楽 CD のトラックをドラッグ&ドロップ		16
エンコード方法 2 音楽 CD のトラックをダブルクリック		19
エンコード方法 3 音楽 CD ごと Finder 上にドラッグ&ドロップ		19
エンコード方法 4 MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ		20
エンコード方法 5 MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード		20
MacMP3 エンコーダ設定		21
次からは表示しない		21



“ MacMP3 エンコード中 ” ダイアログ	22
中止	22
再生する	22
編集画面	22
 第 5 章 MacMP3 コントロールパネル	24
設定	25
■ MacMP3 エンコーダのオン / オフ	25
■ ファイルサイズと音質	25
ビットレート	26
アルゴリズム	26
■ ファイルタイプと場所	26
デフォルトプレーヤを選ぶ	26
MP3 ファイルのエンコード先	27
■ Play As You Encode(TM)	27
CD 情報	27
■ CD データベース (CDDB)	28
CDDB サーバ	28
メールアドレス	28
CD 情報の検索	28
< Tips : CD データベース (CDDB) とは >	28
■ ID3v2 タグ	29
MP3 ファイルに曲名・アーティスト情報を含める	29
情報を要求	29
上級設定	30
■ エンコードオプション	30
VBR エンコードを有効	30
ステレオモード	31
■ オーディオリッピング	31
CD トラックファイルを AIFF ファイルにエンコードする	31
■ デフォルトのファイルフラグ	31
オリジナル	32
著作権	32
CRC	32

< Tips : CRC (Cyclic Redundancy Check) とは >	32
MacMP3 について	32
 第 6 章 MacMP3 プレーヤ	34
コントロールウインドウ	34
MP3 ファイルを聴く	37
< ファイルから再生する >	38
< プレイリストから再生する >	38
1. プレイリストを作成する	38
2. プレイリストを選択する	39
音楽 CD を聴く	39
ストリーミング再生を聴く	40
< ストリームガイドからストリーミング再生する >	41
< お気に入りからストリーミング再生する >	41
メニュー	42
■ ファイルメニュー	42
MP3 ファイルを開く	42
サーバを開く	42
プレイリストを開く	42
ファイルをプレイリストに追加	42
閉じる	43
プレイリストを保存	43
プレイリストを別名で保存	43
終了	43
■ 編集メニュー	43
取り消し	43
カット/ペースト/コピー/消去	43
すべてを選択	44
初期設定	44
< アピアランス >	44
フェイス選択ウインドウ	44
< 一般設定 >	45
MP3 ファイル	46



CD オーディオ	47
上級設定	47
<ネットワーク>	48
CD データベース設定	48
接続情報	49
ストリームガイドの設定	49
その他のネットワーク設定	50
■ モードメニュー	50
CD モード	50
MP3 モード	51
NET モード	51
再生	51
停止	51
イジェクト	51
取得した CD 情報を削除	52
この曲を MacMP3 でエンコード	52
この CD を MacMP3 でエンコード	52
サーバをお気に入りに追加	52
■ プレイリストメニュー	53
シャッフル	53
順番をふりなおす	53
プレイリストをリピート	53
1曲のみリピート	53
ストリームガイドを更新	54
■ ウィンドウメニュー	54
コントロール	54
インフォメーション	54
プレイリスト	56
<プレイリストに MP3 ファイルを追加する>	57
<プレイリストの演奏順を変更する>	58
<プレイリストのアイコン>	58
<プレイリストから MP3 ファイルを削除する>	58
お気に入りのサーバ	59
<サーバをお気に入りとして登録する>	60
ストリームガイド	60

イコライザ	61
第 7 章 FAQ（よくある質問と回答）	6 2
一般：	6 2
プレイヤー：	6 2
エンコーダ：	6 5
その他：	7 0
第 8 章 テクニカルサポート	7 2
■ ユーザ登録	7 2
■ 登録方法	7 2
■ サポート窓口	7 2
■ サポートセンターへのお問い合わせ	7 3

第 1 章 はじめに

MP3 とは？

MP3 は MPEG audio layer 3 の略称で、オーディオデータを扱うファイル形式の一つです。他の音声ファイル形式と比較して容量が小さく、ほぼオリジナルと同様の音質を保つことができるという特徴を持っているため、様々な用途に応用が可能な汎用フォーマットとして注目を集めています。

MPEG (Motion Picture Experts Group) とは、国際標準化機構 (ISO) と国際電気標準会議 (IEC) が共同で組織した作業グループの名称です。このグループの目標としては、デジタルビデオと音声データ圧縮の国際標準規格を作ることが掲げられています。つまり MPEG とは、あまり大きなデータ量を必要とせず、デコードにも負荷のかからない音声/ビデオデータフォーマットの定義を行う団体、と言い換えられます。

通常、DOS や UNIX システム上では、MP3 フォーマットであることをシステムに認識させるため、3文字の拡張子 “.mp3 ” がファイル名の末尾に付けられます。

著作権について

MP3 の普及とともに最もクローズアップされているのが、その高いクオリティゆえに生じる著作権に関わる問題です。当然、自分で作った楽曲を MP3 ファイルにする分には何の問題もないのですが、著作権を有し、商品として売られている音楽著作物を複製して MP3 に変換するときには注意が必要です。

もちろん、個人的に楽しむ範囲ならば問題ないことがほとんどです。しかし、それらの音源から作成したデータを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって厳しく禁止されています。

著作権に関する法律は、今後改定されていくことが考えられます。従って、著作権に関する最新情報は、日本音楽著作権協会 (JASRAC) のページ (<http://www.jasrac.or.jp/>) 等を随時ご確認ください。

MacMP3 概要

MacMP3 は、音楽 CD からドラッグ&ドロップするだけで MP3 ファイルを自動で作成することができるエンコーダと、MP3 をサポートしたインター



ネット時代のマルチソース・プレーヤがセットになったトータルパッケージです。各コンポーネントの概要を以下に簡単に紹介します。

エンコーダ

- 音楽 CD からドラッグ&ドロップするだけで MP3 ファイルを自動作成
- ダイレクト MP3 変換により、広大なディスク空き容量を必要としない高速変換を実現
- CD タイトル / 曲名を自動認識 (CDDDB^{*1} サポート)
- ステレオ / モノラルの両フォーマットをサポート
- MP3 だけでなく、AIFF^{*2} への変換もサポート
- AIFF から MP3 への変換をサポート
- QuickTime 4^{*3} による再生をサポート

プレーヤ

- 話題の MP3 のストリーミング再生^{*4}をサポート！
- CD / MD プレーヤを凌ぐ多彩な再生機能 (イコライザ搭載、プログラム再生、リピート、ランダム等)
- iMac のようなスケルトン調ユーザインタフェース (iMac 各色向けインタフェース付属)
- CD タイトル / 曲名を自動認識・表示 (CDDDB^{*1} サポート)
- アーティスト名やタイトルなどの認識が可能 (ID3^{*5} タグをサポート)

脚注

-
- *1 世界中の CD のタイトルやアーティストの名前が登録されているデータベース。
*2 Macintosh で使われている標準的な音声ファイルの形式。
*3 アップルコンピュータ社が開発したコンピュータでデジタルオーディオやデジタルビデオを扱うための機能を拡張する技術。
*4 インターネットを通じて配信される音声を使った情報の提供。
*5 MP3 ファイルの中に曲名やアーティスト名、その他の情報を埋め込むための領域。これを付加することで管理が容易になる。

第2章 インストール

MacMP3 のインストール方法を以下に説明します。

フルインストールを行うと、MacMP3 エンコーダ、プレーヤを含むすべてのコンポーネントがインストールされます。インストールされる詳しい内容については、インストール後に作成される「MacMP3 フォルダ」内の「MacMP3 お読みください」を参照してください。

システム要項

Mac OS 8.1 以降、Mac OS8.6 対応 (Mac OS 8.5 以降推奨)、iMac対応、8 MB以上のRAM、CD-ROM ドライブ (8倍速以上推奨)、インターネット接続環境 (CDDDB 機能等のインターネット連携機能に必要)

エンコーダ： Power Macintosh、Power Macintosh G3 推奨

プレーヤ： PowerPC 604 以上のプロセッサを搭載した Power Macintosh、Power Macintosh G3 推奨

(PowerPC プロセッサを搭載したすべての Macintosh で動作自体は可能ですが、スムーズな再生が行えない場合があります。)

処理速度の低い Macintosh でのご使用につきましては、「MacMP3 フォルダ」内の「MacMP3 お読みください」をご参照ください。

インストール手順

1. インストールを開始する前に、CD-ROM からハードディスクへ MacMP3 のインストーラをコピーします。デスクトップなどの分かりやすい場所にコピーすることをおすすめします。
2. コピーが終了したら、機能拡張マネージャなどで OS 基本の機能拡張だけにして、Macintosh を再起動してください。インストール時の問題の大半は、標準以外の機能拡張を外すことで回避できます。
3. ハードディスク上にコピーした “MacMP3 1.0J インストーラ” アイコンをダブルクリックしてください。インストーラが起動します。



MacMP3 1.0J インストーラ

4. ダイアログが表示されます。



“ 続ける ” をクリックしてください。

5. インストーラのウインドウ内に文書が表示されます。



この文書を保存する場合は“ 保存 ” ボタンを、印刷する場合は“ 印刷 ” ボタンをクリックします。ただし、印刷に関する機能拡張が有効になっていない場合は印刷ができません。

インストール作業を開始する場合には、“ 続ける ” ボタンをクリックしてください。インストールを中止する場合には“ キャンセル ” ボタンをク

リックしてください。

6. 使用許諾書が表示されます。



使用許諾書はインストール前に必ずお読みください。この使用許諾書に同意できない場合には、インストールを中止して、この製品のメディア、パッケージおよび付属品一切をご返品ください。

内容に同意する場合は「同意します」をクリックします。

7. 登録ダイアログが表示されます。





名前、会社名、登録番号を入力してください。

登録番号は同梱されているユーザー登録カードに記載されています。間違いのないように全て半角英数で正確に入力してください。名前は半角3文字以上の入力が必要です。会社名は空欄でも構いません。すべての情報を入力したら“登録”ボタンをクリックしてください。

8. MacMP3 すべてのコンポーネントをインストールする場合、“MacMP3 1.0J フルインストール”が選択された状態で“インストール”ボタンをクリックしてください。この場合、MacMP3 の全てのコンポーネントが一度にインストールされます。

エンコーダやプレーヤのみインストールしたい場合には、それぞれインストールしたい項目を選択してください。

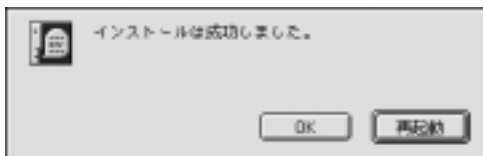


9. インストール先を指定します。



MacMP3 のインストール先を指定するダイアログが表示されます。インストール先を指定したら、“インストール” ボタンをクリックしてください。

10. インストールが終了すると、“OK” “再起動” のいずれかを訊ねるダイアログが表示されます。



インストール前に機能拡張を外してからインストール作業を行った場合などには、一度“OK”をクリックし、インストーラを終了した後に、機能拡張を元の状態に戻してから再起動を行ってください。



第3章 今すぐ作ってみよう！

音楽 CD から MP3 ファイルを作ってみる

■ 作成方法 1 ■

Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ＆ドロップ



MacMP3 をインストール後、再起動すると、MP3 エンコード（作成）に必要な機能がシステムに自動的に組み込まれます。

ですから、あなたは音楽 CD を丸ごと、または必要なトラックだけ選択し、ドラッグ＆ドロップで Finder 上のデスクトップやフォルダにコピーするだけで MP3 を作成できます。

■ 作成方法 2 ■

プレーヤで音楽 CD を再生しながらエンコード





プレーヤの“モード”メニューから

- この曲を MacMP3 でエンコード
- この CD を MacMP3 でエンコード

を実行すると、音楽 CD を再生しながら、MP3 へのエンコードを行うことができます。

デフォルトの設定では、エンコードの開始時に「MacMP3 エンコード設定」のダイアログが表示されます。「継続」ボタンを押すことでエンコード処理を開始することができます。



MP3 を聴いてみる

プレーヤの起動



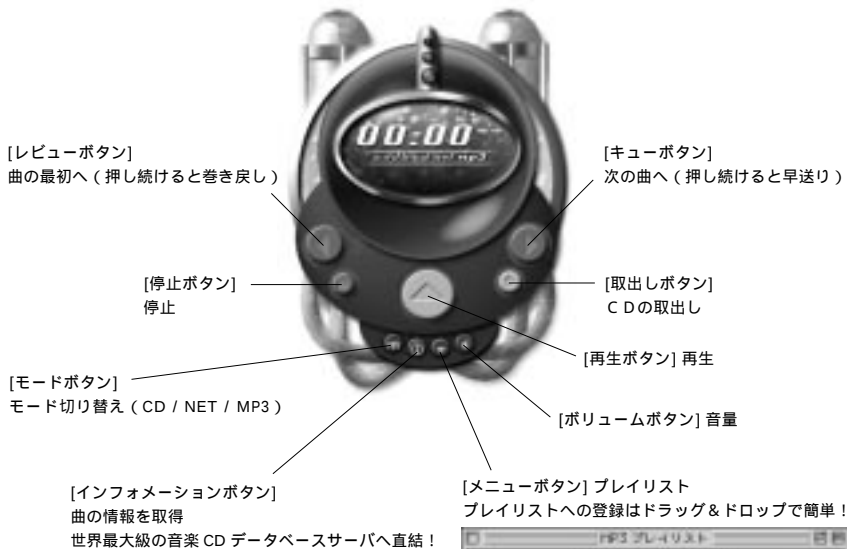
MP3 ファイルを MacMP3 プレーヤアイコンにドラッグ＆ドロップすれば、MacMP3 プレーヤが起動して、すぐに再生が始まります。

もちろん、MacMP3 プレーヤアイコンをダブルクリックして起動することもできます。

MacMP3 プレーヤは、MP3 ファイルだけでなく、音楽 CD や インターネットラジオ（ストリーミング再生）を聴くこともできるマルチソース・プレーヤです。



プレーヤの基本操作



フェイスの選択

フェイスとは、プレーヤの外観のことです。

MacMP3 ではユーザの好みや持っているマシンの色に合わせて外観を選択することができます。

“ 初期設定 ” パネルの “ アピアランス ” で選択してください。





イコライザ

イコライザとは一定の周波数帯域ごとに強弱をつけることができる機能です。

これによって、好みの音質を細かく調整することが可能です。



第4章 エンコードについて

MacMP3 には大きく分けて、MP3 ファイルを作成する“エンコード”機能とMP3 ファイルを再生する“プレーヤ”機能の2つの機能があります。ここでは“エンコード”について説明します。

エンコードとは

MP3 ファイルを作成することを「MP3 ファイルにエンコードする」と言います。エンコードするソフトを「エンコーダ」と呼びます。

MacMP3 で MP3 ファイルを作成するには以下の5つの方法があります。

- [1] 音楽 CD のトラックをドラッグ&ドロップ
- [2] 音楽 CD のトラックをダブルクリック
- [3] 音楽 CD ごとエンコード
- [4] MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ
- [5] MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード

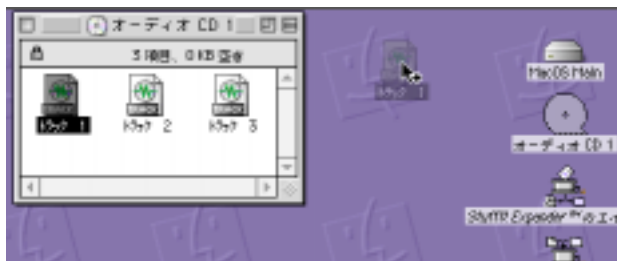
それぞれの方法を以下に詳しく説明しますので、一番使いやすい方法で MP3 ファイルを作成してください。

エンコード方法 1

音楽 CD のトラックをドラッグ&ドロップ

一番簡単な MP3 ファイルの作成の仕方がこの方法です。手順は以下の通りです。

1. 音楽 CD を Macintosh に挿入します。
2. 音楽 CD のアイコンをダブルクリックして開き、エンコードしたいトラックをデスクトップ上や任意のフォルダ等にドラッグ&ドロップします。



3. 設定画面が表示されます。



上級設定をしたい場合は“上級設定”ボタンをクリックしてください。設定の詳細については、後述する“MacMP3 エンコーダ設定”の項目を参照してください。

お好みの設定を行った後、“継続”ボタンをクリックしてください。

4. 設定によりエンコードしている MP3 ファイルのタグ情報を編集するウィンドウが表示されます。



この画面の詳細については、「第5章 MacMP3 コントロールパネル」の「設定」および「上級設定」の項目を参照してください。

5. エンコードが終了すると、MP3 ファイルが作成されます。



この方法で MP3 ファイルを作成すると、MP3 ファイルはトラックをドラッグ&ドロップした場所に作成されます。この場合はデスクトップに MP3 ファイルが作成されているはずです。

これで MP3 ファイルが作成されました。MacMP3 プレーヤを使って、作成した MP3 ファイルをお楽しみください。

プレーヤの詳細は「第6章 MacMP3 プレーヤ」を参照してください。



エンコード方法 2

音楽 CD のトラックをダブルクリック

MP3 ファイルに変換したいトラックをダブルクリックした場合も、MP3 ファイルへエンコードすることができます。トラックをダブルクリックした後は、前項の 3.以降と同様の動作をします。

唯一異なる点は、MP3 ファイルが作成される場所です。トラックをダブルクリックして MP3 ファイルを作成した場合、“MacMP3 設定” コントロールパネルで設定されている“MP3 ファイルのエンコード先”にファイルが作成されます。この設定は、デフォルトではデスクトップになっています。

“MacMP3 設定” コントロールパネルにつきましては「第 5 章 MacMP3 コントロールパネル」をご覧ください。

エンコード方法 3

音楽 CD ごと エンコード

音楽 CD の全トラックを簡単にエンコードすることもできます。マウントした音楽 CD のアイコンを Finder 上の任意のフォルダやボリュームにドラッグ&ドロップしてください。前述の「音楽 CD のトラックを Finder 上のデスクトップやフォルダにドラッグ&ドロップ」と同様の操作で、CD 全トラックのエンコードが開始されます。



エンコード方法4

MacMP3 エンコーダにドラッグ&ドロップ

インストール後作成された MacMP3 フォルダ内に「MacMP3 エンコーダ」のエイリアスが作成されます。このエイリアスに音楽 CD やトラック、AIFF ファイルをドラッグ&ドロップすることで、MP3 ファイルにエンコードされます。

エンコード方法5

MacMP3 プレーヤから音楽 CD をエンコード

MacMP3 プレーヤで再生中の音楽 CD を MP3 ファイルにエンコードすることもできます。操作方法につきましては、「第6章 MacMP3 プレーヤに」をご覧ください。



MacMP3 エンコード設定

音楽 CD からトラックをドラッグ&ドロップすると“MacMP3 エンコード設定”という画面があらわれます。この画面で“上級設定”ボタンをクリックすると、詳しい設定を行うことができます。

これらの設定に関する詳細は、「第5章 MacMP3 コントロールパネル」の“設定”および“上級設定”の項目を参照してください。



次からは表示しない

“MacMP3 エンコード設定”画面には、左下に“次からは表示しない”チェックボックスがあります。ここにチェックを入れると、音楽 CD を MP3 ファイルにエンコードするときに、“MacMP3 エンコードの設定”の画面を表示しないように設定することができます。この項目は他の設定パネルにはありません。必ずここで設定してください。

“ MacMP3 エンコード中 ” ダイアログ

MP3 ファイルへのエンコードが開始されると、“ MacMP3 エンコード中 ” ダイアログが表示されます。このダイアログの設定を以下に説明します。

中止

MP3 へのエンコードを中止します。

再生する

この項目にチェックすると、エンコードを継続しながらエンコード中の CD トラックが再生されます。

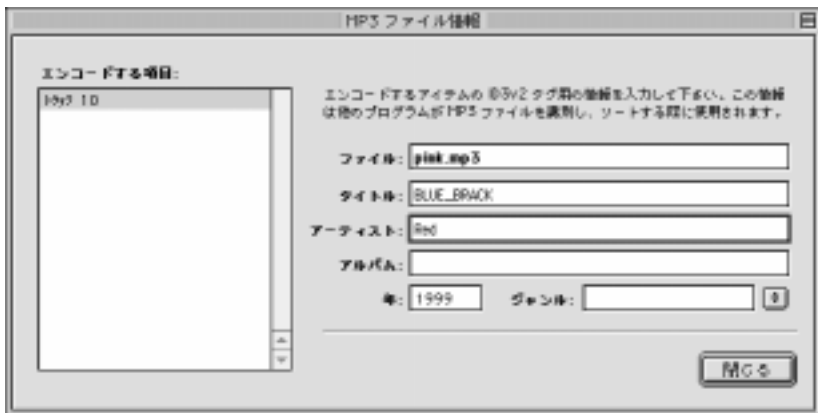
編集画面

“ MacMP3 エンコード中 ” ダイアログの左下に表示されている三角のアイコンをクリックすると MP3 ファイルの詳細を表示する画面があらわれます。



この詳細画面の“ 編集 ” ボタンをクリックすると、エンコード中の MP3 ファイルに含まれる ID3v2 タグの編集ウインドウがあらわれます。

ID3v2 タグは曲名やアーティスト名などの情報を埋め込むための領域で、一般的な MP3 プレーヤーでサポートされています。



ウインドウ左部でトラックを選択すると、右部の入力エリアがアクティブになります。このウインドウで編集できるタグ情報には以下の項目があります。

- ファイル
- タイトル
- アーティスト
- アルバム
- 年
- ジャンル

また、MacMP3 がインターネット経由で CDDDB からエンコード中の音楽 CD の情報を取得した場合、左部のトラック名リストに取得したトラック名が表示され、それぞれの情報が自動的に各入力エリアに反映されます。必要があれば、これらの反映情報を修正することも可能です。

第 5 章 MacMP3 コントロールパネル

この章では、“MacMP3 設定”のコントロールパネルについて説明します。このコントロールパネルでは、主にエンコード機能の設定を行うことができます。

また、音楽 CD から MP3 ファイルを作成するときに表示される“MacMP3 エンコーダ設定”とその上級設定の設定項目を含んでいます。“MacMP3 エンコーダ設定”についてはこの章の「設定」を、その上級設定についてはこの章の「上級設定」を参照してください。

なお、“MacMP3 フォルダ”には“MacMP3 設定”コントロールパネルのエイリアスがインストールされており、このエイリアスからコントロールパネルを起動して、設定を行うことができます。

“MacMP3 設定”コントロールパネルには、

“設定”

“CD 情報”

“上級設定”

“MacMP3 について”

の 4 つのタブがあります。以下にそれぞれの設定項目を説明します。



設定



■ MacMP3 エンコーダのオン / オフ

コントロールパネル右上にあるオン / オフのラジオボタンによって、MacMP3 の自動エンコード機能のオン / オフを設定することができます。オフにすると、音楽 CD のトラックをダブルクリックしても、MP3 ファイルに自動的にエンコードされません。

■ ファイルサイズと音質

ビットレートと音質を設定できます。ビットレートを高くするとファイルのサイズは大きくなりますが、音質はよくなります。また、音質重視を選択することで音質は向上しますが、エンコード時間が若干遅くなります。

ビットレート



一般的に、高く設定することで音質はよくなりますが、圧縮率が低下し、ファイル容量が大きくなります。

音楽 CD（サンプリング周波数44.1kHz、量子化 bit 数16bit、ステレオ）と同様の音質にエンコードしたい場合、“128kbps” または “160kbps” を選択してください。

アルゴリズム

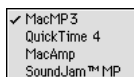
音質とエンコード速度のどちらを優先するか設定します。“音質優先” を選択すると、ISO によって定められた規格をベースに情報量をできるだけ多く残します。

< Tips : ビットレートとは >

ビットレートとは1秒間に伝送される情報量をビット数で表現したものです。情報量が多い程、ビットレートは高くなります。音声の場合、1秒間に何ビットのデータを表現するかという割合になります。単位は「ビット / 秒」となり、「kbps」は「キロ（1,000）ビット / 秒」を指します。高音や低音を美しく聴かせたい場合はビットレートを高くする必要がありますが、高低の少ない音楽などの場合はビットレートをあまり高く設定しなくても美しく聴かせることができます。

■ ファイルタイプと場所

デフォルトプレーヤを選ぶ



作成した MP3 ファイルをダブルクリックしたときに、どの MP3 プレーヤを起動するかを設定できます。



MP3 ファイルのエンコード先

音楽 CD のトラックをダブルクリックしてエンコードした時、作成した MP3 ファイルをどこに保存するかを設定します。“選択” ボタンをクリックし、ダイアログから保存先フォルダを選択することができます。

■ Play As You Encode™

この項目をチェックすると、音楽 CD のトラックを MP3 ファイルにエンコードしながら再生することができます。

この機能は処理能力の高いプロセッサを必要とするため、高速な処理が可能な Macintosh でのみ推奨されています。

CD 情報



■ CD データベース (CDDDB)

CDDDB サーバ

CD 情報を取得するために検索を行う CDDDB サーバを設定します。

メールアドレス

CDDDB サーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だと接続できないことがありますので注意してください。

CD 情報の検索

どのような場合に CD データベースの検索を行うかを設定します。デフォルトでは“オンライン時のみ”が選択されています。



- | | |
|----------|--|
| 常に | CD をマウントした時、常に CD データベースの検索を行うように設定します。 |
| オンライン時のみ | CD をマウントし、なおかつインターネットに接続し実際にデータが転送されている時のみ検索を行うように設定します。 |
| 常にしない | 常に CD データベースの検索を行わないように設定します。 |

< Tips : CD データベース (CDDDB) とは >

世界中の CD のタイトルやアーティストの名前・ジャンルなどが登録されているデータベースサーバで、インターネット上で公開されています。MacMP3 は自動的にこの CD データベースサーバにアクセスし、その情報を取得してプレーヤに表示したり、作成した MP3 ファイルの ID3v2 タグに反映することができます。



■ ID3v2 タグ

MP3 ファイルに曲名・アーティスト情報を含める

この項目にチェックすると“ 情報を要求 ” が有効になり、MP3 ファイルのタグ情報をどのように編集するかを設定できます。

情報を要求



常に

MP3 ファイルにエンコードする時、常に ID3v2 タグの編集画面を表示するように設定します。

CDDB に見つからなかった場合

CDDB に情報が見つからなかった時のみ ID3v2 タグの編集画面を表示するように設定します。

使用しない

常に ID3v2 タグの編集画面を表示しないように設定します。



上級設定



■ エンコードオプション

可変ビットレートとは、ビットレートが時間的に変化する方式のことを指します。通常の設定では、“設定”タブ内の“ビットレート”項目で設定したビットレート（デフォルトでは“128kbbs”）に固定された「固定ビットレート方式」で MP3 ファイルにエンコードします。この場合、設定したビットレートより狭い音域の場合は、確保した領域を使い切らないために容量が無駄に遣われることになります。その点、VBR は音域が狭いところではビットレートを低く、音域が広いところではビットレートを高くエンコードし、最適な無駄の少ないエンコードが行えます。しかし、MP3 プレーヤの中には VBR に対応していないものも多いので、注意が必要です。

VBR エンコードを有効

この項目をチェックすることで、VBR（可変ビットレート）を有効にします。可変幅の設定はスライダで行うことができます。



ステレオモード

MacMP3 は以下のモードに対応しています。



ステレオ

モノラル

ジョイントステレオ

フォースステレオ

■ オーディオリッピング

CD トラックをエンコードせずに AIFF ファイルにリップする

この項目をチェックすることで、オーディオトラックを MP3 にエンコードする代わりに、AIFF ファイルとして保存することができるようになりますが、AIFF ファイルは容量が非常に大きくなることがあるので注意が必要です。また、この項目をチェックすると、MP3 へのエンコード機能はオフになります。

AIFF ファイルは QuickTime や Macintosh 上のその他のオーディオメディアプレーヤーで再生することができ、最もオリジナルに忠実なコピーとなります。

また、AIFF ファイルをシステムフォルダ内の機能拡張フォルダにインストールされている “MacMP3 エンコーダ” アプリケーションにドラッグ&ドロップすることで、AIFF ファイルから MP3 ファイルにエンコードすることも可能です。“MacMP3 フォルダ” にはこのアプリケーションのエイリアスがインストールされており、そちらを使用しても同様の操作が行えます。

■ デフォルトのファイルフラグ

この項目をチェックすることで、MP3 ファイルのヘッダに情報を埋め込むことができます。これらの情報は音質に影響はなく、MP3 の規格において、そ

のヘッダ内に保存する領域が用意されているものです。将来、プレーヤやエンコードなど MP3 を扱うハードおよびソフトが必要とする情報になる可能性があります。

オリジナル

オリジナルかコピーかの情報を追加できます。この項目をチェックするとオリジナルに設定されます。

著作権

この項目をチェックすると著作権が保護されているというデータが追加されます。

CRC

この項目をチェックすると CRC チェック用のデータが2バイト分追加されます。

< Tips : CRC (Cyclic Redundancy Check) とは >

巡回冗長検査と言い、データ伝送やディスクなど媒体への読み書きが正確にできたかどうかを検査するための方法のひとつです。

MacMP3 について

登録情報やバージョン情報が表示されます。

また、開発者など、MacMP3 をリリースするために努力した人たちの名前を表示させていただいています。どうぞこれからも MacMP3 を応援してください。



第 6 章 MacMP3 プレーヤ

この章では、エンコード機能と並ぶ、もう一つの大きな機能の「プレーヤ」について説明します。

コントロールウインドウ

MacMP3 プレーヤの操作を行うインタフェースです。

各フェイスにはそれぞれインジケータウインドウとインジケータエリア、操作ボタンが用意されています。フェイスの変更は“初期設定”の“アピアランス”で行います。



デフォルトのフェイス





機能は各フェイスに共通です。ここでは5色のタイプが用意されているiフェイスを例に、まず各エリアやボタンの説明をします。



- インジケータウィンドウ

現在選択されているモード、再生状況等が表示されます。CDDDB にアクセスすると CDDDB ランプが点滅します。

- インジケータエリア

現在再生しているトラック/ファイルや接続中のサーバの情報が表示されます。

- 再生（一時停止）ボタン

トラック/ファイルの再生を開始します。再生中は一時停止ボタンに変化します。一時停止した状態で再度再生ボタンをクリックすると一時停止が解除され、トラック/ファイルの再生を再開します。

（NET モードでは一時停止ボタンは使用できません。）

- 停止ボタン

トラック/ファイルの再生を停止します。

- キューボタン

トラック/ファイルの再生をキューします。ワンクリックで次のトラック/ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック/ファイルを早送りします。

（NET モードでは使用できません。）

- レビューボタン

トラック/ファイルの再生をレビューします。ワンクリックでそのトラック/ファイルの最初から再生を開始し、押し続けることで再生しながらトラック/ファイルを巻き戻します。

（NET モードでは使用できません。）

- イジェクトボタン

マウントしている音楽 CD のイジェクト、選択中のプレイリストの切り替えに使用します。

（NET モードでは使用できません。）

- メニューボタン

現在のモードに対応したメニューが表示されます。

< MP3 モード >

プレイリストウインドウ/イコライザを表示することができます。
また、選択中のプレイリストのファイル名がリスト表示され、選択することでダイレクトに再生を開始することが可能です。



< NET モード >

お気に入りウィンドウ/イコライザ/ストリームガイドを表示することや、現在接続中のサーバをお気に入りに追加することができます。また、お気に入りに登録したサーバがリスト表示され、選択することで接続し、再生を開始することが可能です。

< CD モード >

マウントしている音楽 CD のトラックがリスト表示され、選択することでダイレクトに再生を開始することが可能です。

- インフォメーションボタン

インフォメーションウィンドウを開き、現在再生している CD/MP3 ファイルや接続中のサーバの情報を表示します。

- モードボタン

ワンクリックで MP3 → NET → CD の順にモードを切り替えます。押し続けることでモードのリストを表示し、選択することが可能です。

- ボリュームボタン

MacMP3 プレーヤの音量を調節することができます。

MP3 ファイルを聴く

MP3 ファイルを再生する場合、“MP3 モード”を使用します。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“MP3 モード”を選択して行います。

MP3 モードでは、プレーヤ上の全てのボタンがアクティブになり、使用可能となります。MP3 ファイルの再生には、ファイルから再生する方法とプレイリストから再生する方法があります。

< ファイルから再生する >

以下のいずれかの手順で MP3 ファイルを再生することができます。

1. MP3 ファイルをダブルクリックする
2. MP3 ファイルをプレーヤ上にドラッグ&ドロップする
3. MP3 ファイルをプレーヤのアイコンにドラッグ&ドロップする
4. ファイルメニューから “ MP3 ファイルを開く ” を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する
5. プレイリストが選択されていない場合は、プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの “ 再生 ” を選択し、ダイアログボックスから再生したいファイルを選択する

< プレイリストから再生する >

プレイリストは複数の MP3 ファイルの再生順情報を 1 つのファイルにまとめたもので、オリジナルの MP3 ファイルとは別に、MP3 ファイルの情報をリストにして保持します。

MacMP3 プレーヤではプレイリストを作成/選択し、そのリストを再生することができます。

1. プレイリストを作成する

以下のいずれかの方法で MacMP3 プレイリストウインドウを開きます。

- ・メニューボタンから “ プレイリストウインドウを開く...” を選択
- ・ウインドウメニューから “ プレイリスト ” を選択

プレイリストウインドウ内に MP3 ファイルをドラッグし、リストに追加します。

作成したプレイリストは、ファイルメニューから “ プレイリストを保存 ” “ プレイリストを別名で保存...” を選択して保存することで、次の「2. プレイリストを選択する」の手順でいつでも選択し、再生することができるようになります。



プレイリストを作成したら、プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、リスト内の MP3 ファイルを再生します。

2. プレイリストを選択する

ファイルメニューの“プレイリストを開く...”を選択するか、プレーヤのイジェクトボタンを押し、既存のプレイリストを選択します。

プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、プレイリストを再生してください。

また、プレイリストウインドウを開いている場合は、リスト内のファイルをダブルクリックすることでも再生を開始することができます。

選択しているプレイリストを切り替える場合は、プレイリストの再生を停止し、プレーヤのイジェクトボタンを押すか、ファイルメニューの“プレイリストを開く”を選択して新しいプレイリストを選択してください。

MacMP3 プレイリストウインドウ内の操作とプレイリストの詳細については、「ウインドウメニュー」の「プレイリスト」の説明箇所を参照してください。

音楽 CD を聴く

音楽 CD を再生する場合、“CD モード”を使用します。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“CD モード”を選択して行います。

CD モードでは、音楽 CD をマウントした状態の時、プレーヤ上の全てのボタンがアクティブになり、使用可能となります。

プレーヤの再生ボタンを押すか、モードメニューの“再生”を選択し、マウントしている音楽 CD のトラックを再生します。

音楽 CD の再生中にモードメニューから“この曲を MacMP3 でエンコード”
“この CD を MacMP3 でエンコード”を選択すると、再生中のトラック/CD

を MP3 ファイルにエンコードすることが可能です。

このモードでは音楽 CD がマウントされると、編集メニューの“初期設定”パネル内の“ネットワーク”タブの設定に従って CDDB の情報を検索し、取得した情報をインジケータエリアに表示します。なお、CDDB の情報を検索・取得するには、インターネットに接続されている必要があります。

エンコーダが検索した CDDB 情報と同様、この情報はモードメニューから再生中のトラック/CD を MacMP3 にエンコードした場合にも保持されます。また、一度取得した CD 情報は MacMP3 によってシステム内に保存され、次回以降同じ CD をマウントした時に参照できます。

CDDB から取得した情報は、デスクトップ上にマウントされた CD のアイコンやトラックファイルのアイコンの名称に反映され、MacMP3 プレーヤのインジケータエリアやインフォメーションウィンドウに表示されます。

ストリーミング再生を聴く

ストリーミング再生で MP3 ファイルを受信/再生する場合、“NET モード”を使用します。NET モードをお使いになるには、インターネットに接続している必要があります。モードの切り替えはモードボタンかモードメニューで“NET モード”を選択して行います。

NET モードでは、レビュー/キュー/イジェクトボタンは使用できず、再生状態に応じて再生ボタンと停止ボタンのいずれか一方だけがアクティブになります。

プレーヤの再生ボタンを押すか、ファイルメニューの“サーバを開く...”を選択すると、“サーバに接続”ダイアログが表示され、接続先のアドレスやポート番号を入力することでストリーミング再生を開始します。

また、お気に入りやストリームガイドからサーバに接続し、ストリーミング再生を行うことも可能です。初めて NET モードをお使いになる場合は、ストリームガイドのご使用をおすすめいたします。

お気に入り/ストリームガイドからの再生は、それぞれ以下の手順で行います。



< ストリームガイドからストリーミング再生する >

プレーヤのメニューボタンから“ストリームガイドを開く...”、またはウィンドウメニューの“ストリームガイド”を選択し、ストリームガイドウィンドウを表示します。

MacMP3 プレーヤは人気のあるサーバを検索して URL や転送速度、リスナーの状態等の情報をストリームガイドとして表示します。接続したいサーバをダブルクリックするか、プレーヤ上にドラッグして再生を開始します。

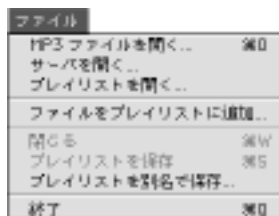
ストリーミングガイドウィンドウに表示されるサーバの数は初期設定で指定します。詳しくは後述の「メニューについて」の編集メニュー内“初期設定”の説明箇所を参照してください。

< お気に入りからストリーミング再生する >

1. プレーヤのメニューボタンから“お気に入りウィンドウを開く...”、またはウィンドウメニューの“お気に入りのサーバ”を選択し、お気に入りのサーバウィンドウを表示します。登録されているお気に入りをダブルクリックするか、プレーヤ上にドラッグして再生を開始します。
2. プレーヤのメニューボタンにお気に入りに登録したサーバがリスト表示されます。選択することで接続し、再生を開始することが可能です。

メニュー

■ ファイルメニュー



MP3 ファイルを開く

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に MP3 モードに切り替わります。“開く”ダイアログで MP3 ファイルを選択し、再生を開始することができます。

サーバを開く

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に NET モードに切り替わります。“サーバに接続”ダイアログで接続先のアドレスを入力し、ストリーミング再生を開始することができます。

プレイリストを開く

このコマンドを選択すると、他のモードを使用している場合は自動的に MP3 モードに切り替わります。MP3 モードでプレイリストが選択されていた場合、“開く”ダイアログで新しいプレイリストを選択して切り替えることができます。選択中のプレイリストに変更が加えられていた場合は、閉じる前にプレイリストを保存するかどうか訊ねるダイアログが表示されます。

ファイルをプレイリストに追加

MP3 モードで選択しているプレイリストに MP3 ファイルを追加することができます。このコマンドは MP3 モード以外の他のモードでも使用可能です。



閉じる

アクティブになっているプレイリスト/お気に入り/ストリームガイド/インフォメーション等のウィンドウを閉じます。

プレイリストを保存

選択しているプレイリストに変更があった場合、同名で上書き保存します。

プレイリストを別名で保存

選択しているプレイリストを別名で保存することができます。“保存”ダイアログでプレイリストの新しい名称を入力し、保存します。

終了

再生を中止し、MacMP3 プレーヤを終了します。

■ 編集メニュー



取り消し

直前の操作を取り消します。（操作によっては取り消せないことがあります。）

カット/ペースト/コピー/消去

選択状態にあるファイル名などのテキストに対して有効です。ペーストは、クリップボードにテキストデータがある場合にアクティブになります。

すべてを選択

アクティブになっているウインドウ内の項目を全て選択します。

初期設定

MacMP3 プレーヤの設定を行う初期設定パネルを表示します。

設定項目を変更した場合、“保存”をクリックすると変更箇所が保存され、有効になります。“キャンセル”をクリックすると変更は反映されず、変更前の設定のまま初期設定パネルを閉じます。

初期設定パネルには“アピアランス”“一般設定”“ネットワーク”の3つのタブがあります。以下にそれぞれの設定項目を説明します。

<アピアランス>



フェイス選択ウインドウ

MacMP3 プレーヤのフェイス（アピアランス）を選択できます。このウインドウには、“MacMP3 フォルダ”内の“フェイス”



フォルダの中にあるフェイスデータが表示されます。デフォルトでは10のフェイスがインストールされますが、将来的にフェイスを追加する場合、このフォルダの中にデータファイルを追加することで選択が可能になります。

□ アルファチャネルの使用（シャドウ、トランスルーセントなど）

この項目をチェックすると、各フェイスのシャドウやトランスルーセントのテクスチャを表現するため、アルファチャネルを使用します。

□ バックグラウンドでの実行時に描画回数を最小限にする

この項目をチェックすると、MacMP3 プレーヤー以外のアプリケーションやウィンドウがアクティブになっている時、バックグラウンドで各フェイスのアピアランスを再描画する回数を最小限に留めます。

< 一般設定 >



MP3 ファイル

- ファイルが再生された時、MacMP3 プレーヤに関連付ける

一度 MacMP3 プレーヤで開こうとしたファイルに対し、自動的に MacMP3 のタイプとクリエイタを付加するかどうかを設定します。

- 関連付けを変更した時、カスタムアイコンを削除する

カスタムアイコンを持っているファイルを MacMP3 に関連付けた時、カスタムアイコンを削除して MacMP3 ファイルのアイコンを表示するかどうかを設定します。

- プレイリストに同一ファイルを追加しない

既にプレイリストに追加されている MP3 ファイルを同一のリストに再度追加しようとした際、強制的にスキップするかどうかを設定します。

- 一時的なオーディオ URL ファイルを再生後に削除する

ブラウザを使用して MP3 ファイルをダウンロードした場合、MP3 ファイルは指定のダウンロードフォルダに保存されます。MacMP3 を MP3 ファイルのダウンロードヘルパーとして設定していると、ダウンロード終了後に MacMP3 プレーヤが起動し、ダウンロードしたファイルの再生を開始します。この時、ファイルをハードディスク上に残さず、ダウンロード後に再生だけしたい場合には、この項目をチェックすることで、再生後にダウンロードした一時ファイルを自動的に削除することができます。

- 起動時、プレイリストを再生する

この項目をチェックすることで、MacMP3 プレーヤ起動時に自動的にプレイリストの再生を行うように設定することができます。“プレイリストを選択”ボタンで再生するプレイリストを選択し、“消去”ボタンで選択を解除します。項目をチェックしていても、プレイリストが選択されていないと自動再生は行われません。



CD オーディオ

☐ 使用する CD ドライブ

複数の CD ドライブを同時に使用していた場合、MacMP3 プレーヤでの音楽 CD 再生に使用するドライブを指定します。

上級設定

☐ オーディオ再生バッファサイズ

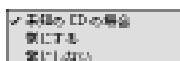
MP3 ファイル再生時のバッファサイズを設定します。ローカルに保存された MP3 ファイルの再生時にはあまり大きなバッファは必要ありませんが、NET モードでストリーミング再生を行う場合や、ネットワークドライブ上の MP3 ファイルを再生する際には、バッファサイズを大きく設定することでスムーズな再生がサポートされます。ただし、バッファサイズを大きくすることで、再生を開始するまでに要する時間も増加するので注意が必要です。

< ネットワーク >



CD データベース設定

□ CD 情報の取得



どのような場合に CD データベースの検索を行うかを設定します。

未知の CD の場合：

一度 CD データベースから取得した CD 情報は MacMP3 プレーヤによってハードディスク内に保持されます。この項目を選択すると、ハードディスク内に情報が存在していない CD をマウントした場合のみ、CD データベースの検索を行うように設定します。



常にする：

マウントした CD 全てについて CD データベースの検索を行うように設定します。

常にしない：

マウントした CD 全てについて CD データベースの検索を行わないように設定します。

□ 複数の一致データがあった場合



CD データベースの検索結果として、マウントしている CD のシリアル番号に該当する候補が複数見つかった場合の確定方法を設定します。

より適合したものを使用：

CD のシリアル番号以外に演奏時間などの情報を照合し、複数候補の中から最も適合したものを使用します。

どれを使用するかたずねる：

ダイアログを表示し、どの候補を使用するかユーザに訊ねます。

接続情報

□ CDDDB サーバ

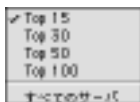
CD 情報を取得するために検索を行うデータベースサーバを設定します。“参照”ボタンを押すことで使用可能なサーバが表示され、一番近いサーバを選択することができます。

□ E-Mail アドレス

CDDDB サーバに接続する際に必要となるユーザのメールアドレスを設定します。ここが空欄だと接続できないことがありますので注意してください。

ストリームガイドの設定

□ 使用するサーバリスト



ストリームガイドに表示されるストリームサーバの数を設定します。

その他のネットワーク設定

□ インターネットで MP3 のヘルパーとして MacMP3 を使う

インストール後、初めて MacMP3 プレーヤを起動したとき、InternetConfig または “インターネット” コントロールパネルに MacMP3 プレーヤを MP3 ファイルのヘルパーとして追加し、関連付けを行うかどうかを設定することができます。

この項目で、その設定を変更し、ヘルパーの関連付けの追加/削除を行うことができます。

■ モードメニュー



CD モード

音楽 CD の再生を行うモードです。プレーヤのすべてのボタンがアクティブ



になります。CD モードで音楽 CD を再生する手順などの詳細については、前述の「音楽 CD を聴く」の項を参照してください。

MP3 モード

既存の MP3 ファイルやプレイリストの再生を行うモードです。プレーヤのすべてのボタンがアクティブになります。

MP3 モードで MP3 ファイルやプレイリストの再生を行う手順などの詳細などの詳細については、前述の「MP3 ファイルを聴く」の項を参照してください。

NET モード

インターネットを通じて配信されている MP3 ファイルを受信しながら再生（ストリーミング再生）するモードです。

レビュー/キュー/イジェクトボタンは使用できず、再生状態に応じて再生ボタンと停止ボタンのいずれか一方だけがアクティブになります。

NET モードでストリーミング再生を行う手順などの詳細については、前述の「ストリーミング再生を聴く」の項を参照してください。

再生

モードに応じてトラック/MP3 ファイルの再生を行います。プレーヤの再生ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。トラック/MP3 ファイルの再生中に選択すると一時停止し、再度選択することで一時停止を解除します。

停止

トラック/MP3 ファイルの再生を停止します。プレーヤの停止ボタンを押した場合と同様の操作が行えます。

イジェクト

マウントしている音楽 CD のイジェクト、選択中のプレイリストの切り替えを行います。プレーヤのイジェクトボタンを押した場合と同様の操作が行えます。（NET モードでは使用できません。）

取得した CD 情報を削除

CD モード使用時に選択可能です。

マウントしている CD の情報を CDDb から取得していた場合、その情報をハードディスク上から削除します。

この操作を行うことで、CD 情報を持たない不明な CD としてマウントさせることや、再度 CD 情報を取得し直すことが可能になります。

この曲を MacMP3 でエンコード

CD モード使用時に選択可能です。

再生中のトラックを MP3 ファイルにエンコードすることができます。

このコマンドを使用すると、MacMP3 プレーヤによる再生は自動的に中止され、MacMP3 エンコーダによるエンコードが開始されます。

この CD を MacMP3 でエンコード

CD モード使用時に選択可能です。

再生中の音楽 CD の全トラックを MP3 ファイルにエンコードし、MacMP3 設定コントロールパネルで設定された場所に MP3 ファイルが作成されます。その際、音楽 CD の名称のフォルダが作成され、その中に保存されます。

このコマンドを使用すると、MacMP3 プレーヤによる再生は自動的に中止され、MacMP3 エンコーダによるエンコードが開始されます。

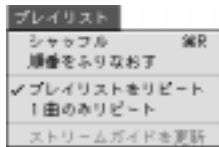
サーバをお気に入りに追加

NET モード使用時に選択可能です。

接続中のサーバをお気に入りに追加することができます。



■ プレイリストメニュー



シャッフル

MP3 モード使用時に選択可能です。

選択中のプレイリスト内のファイルの順番をランダムにシャッフルします。

順番をふりなおす

MP3 モード使用時に選択可能です。

選択中のプレイリストウインドウの MP3 ファイルの再生順を表示されている順番でふりなおします。

プレイリストウインドウの MP3 ファイルの表示順は、ウインドウ上部の“名前” “演奏時間” バーをクリックしてソートするか、ドラッグ&ドロップで並び替えて変更することが可能です。

プレイリストをリピート

MP3 モード使用時に選択可能です。

このコマンドをチェックしておく、選択中のプレイリストで最後の MP3 ファイルの再生を終了した後、自動的にリストの一番最初から繰り返して再生することができます。

1曲のみリピート

MP3 モード使用時に選択可能です。

このコマンドをチェックしておく、再生中の MP3 ファイルを自動的に繰り返して再生することができます。

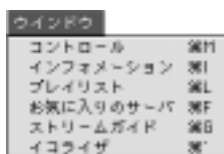
このコマンドはプレイリストから再生している MP3 ファイルにのみ適用され、MP3 ファイルから直接再生を行っている場合には有効になりません。

ストリームガイドを更新

NET モードでストリームガイドウインドウを表示している場合に選択可能です。

ストリームガイドウインドウを開くと、編集メニューの“初期設定”パネル内のネットワークタブで設定したサーバリストが検索され、表示されます。サーバリストは約 5 分間隔で更新されています。このコマンドを選択すると、検索/表示した情報を最新のリストに更新することができます。

■ ウィンドウメニュー



コントロール

MacMP3 プレーヤのコントロールウインドウをアクティブにします。

コントロールウインドウはプレーヤのインタフェースに統合されているため、このコマンドを選択しても新しいウインドウが開かれることはありません。他のウインドウが開かれ、アクティブになっている場合、コントロールウインドウを前面に出し、操作を可能にするために使用します。

インフォメーション

インフォメーションウインドウを表示します。

インフォメーションウインドウでは、モードに応じて現在再生しているトラック/ファイルや接続中のサーバの情報を表示します。

下部の“リンク”では音楽 CD サイトに接続し、現在再生しているトラック/ファイルやストリーム再生中の MP3 ファイルのアーティスト名情報を参照し、そのアーティストがリリースしているアルバム情報の検索を行うことができます。



< CD モード >



CDDb から取得した CD 情報がある場合は参照し、再生中の音楽 CD のアーティスト、アルバム名、総演奏時間やトラックのタイトル、演奏時間などの情報を表示します。“再生中の位置”のスライダーを移動すると、トラック内で再生位置を変えることができます。

< MP3 モード >



ID3 タグを参照し、再生中の MP3 ファイルのアーティスト、タイトル、演奏時間、ジャンル、コメントなどの情報を表示します。“再生中の位置”のスライダーを移動すると、MP3 ファイル内で再生位置を変えることができます。

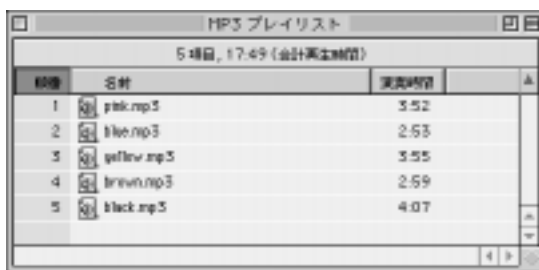
< NET モード >



接続中のストリームサーバの URL、接続状況、ストリーム名、ジャンル、WEB サイトの URL などの情報を表示します。

プレイリスト

“ MP3 プレイリスト ” ウィンドウを表示します。



プレイリストウィンドウでは、MP3 モードで選択されているプレイリストのファイルが“ 順番 ” “ 名前 ” “ 演奏時間 ” で表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

ウィンドウ内でコマンドキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウィンドウをスクロールすることができます。



ウィンドウ上部には、リストに含まれているファイル数、全てのファイルの演奏時間の合計が表示されます。

“ 順番 ”

プレイリストを再生した時、“ 順番 ” にしたがって MP3 ファイルが再生されます。

デフォルトではファイルをプレイリストに追加した順（フォルダ/ボリュームごと追加した場合はファイル名の五十音順）に“ 順番 ” がふられます。

“ 名前 ”

デフォルトでは、リストに登録されている MP3 ファイルのオリジナルのファイル名が表示されます。

このウィンドウ内で“ 名前 ” を変更すると、オリジナルの MP3 ファイルを変更することなく、プレイリスト内での名称のみを分かりやすいものに変更することが可能です。

“ 演奏時間 ”

プレイリストに登録されている MP3 ファイルの演奏時間が表示されます。

< プレイリストに MP3 ファイルを追加する >

以下の方法で追加することができます。

- ・ プレイリストウィンドウへ MP3 ファイルをドラッグします。
- ・ プレイリストウィンドウへフォルダやボリュームをドラッグします。フォルダ/ボリューム内の MP3 ファイル全てが自動的に検出され、リストに追加されます。この際、MP3 ファイル以外の項目はスキップされ、アラートが表示されますが、エラーではありませんので安心してください。
- ・ ファイルメニューから“ ファイルをプレイリストに追加...” を選択することでも、“ 開く ” ダイアログボックスから選択した MP3 ファイルを現在選択されているプレイリストに追加することができます。

< プレイリストの演奏順を変更する >

以下の方法で変更することができます。

- ・ プレイリストウインドウ上部の“ 順番 ” “ 名前 ” “ 演奏順 ” ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順/降順でソートし、表示順を変更します。その後、プレーヤのプレイリストメニューから“ 順番をふりなおす ”を選択し、表示順通りに“ 順番 ”を変更してください。
- ・ プレイリストウインドウ内でファイルをドラッグして表示順を変更後、プレーヤのプレイリストメニューから“ 順番をふりなおす ”を選択し、表示順通りに“ 順番 ”を変更してください。
- ・ プレーヤのプレイリストメニューから“ シャッフル ”を選択すると、リスト内のファイルの“ 順番 ”がランダムにふりなおされます。

< プレイリストのアイコン >

以下の 4 種類があります。



普通の MP3 ファイルを示すアイコンです。



現在再生中の MP3 ファイルを示すアイコンです。プレイリストが再生されていない場合は、次回再生開始時にこのファイルから再生されます。



このプレイリストを選択してから、一度以上再生された MP3 ファイルを示すアイコンです。



プレイリストがオリジナルの MP3 ファイルを参照できなかったことを示すアイコンです。このアイコンの MP3 ファイルは再生されません。

< プレイリストから MP3 ファイルを削除する >

リスト内で MP3 ファイルを選択した状態で delete キーを押すと、オリジナ



ルのファイルはそのまま、リスト内でのみファイルを削除することができます。以下の方法で削除した場合は、オリジナルのファイルに対しても変更が加えられますので、注意が必要です。

- ・ リスト内でファイルを選択し、編集メニューの“削除”を選択すると、リスト内からだけでなく、オリジナルのファイルも同時に削除されます。この場合、ゴミ箱に移動されず、ハードディスクから完全に削除されますので注意してください。
- ・ リスト内からファイルをゴミ箱へドラッグすると、リスト内から削除されるのと同時に、オリジナルのファイルがゴミ箱に移動します。

お気に入りのサーバ

お気に入りのサーバウインドウを表示します。



このウインドウには、お気に入りとして登録したストリームサーバが“URL”“名前”で表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

お気に入りのサーバウインドウ上部の“URL”“名前”ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順/降順でソートし、表示順を変更します。

ウインドウ内でコマンドキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウインドウをスクロールすることができます。

< サーバをお気に入りとして登録する >

以下の方法で登録することができます。

1. ストリームガイドで表示されたサーバを登録する場合、ストリームガイドウインドウからお気に入りのサーバウインドウへサーバをドラッグ&ドロップします。
2. ストリーミング再生中にモードメニューから “サーバをお気に入りに追加” することで、現在接続しているサーバをお気に入りとして登録することができます。

ストリームガイド

ストリームガイドウインドウを表示します。



このウインドウを表示すると、編集メニューの “初期設定” パネルのネットワークの設定に従って人気のあるサーバが検索され、“URL” “名前” “転送速度” “リスナー” “ジャンル” が表示されます。この列順はドラッグして並び替えることが可能です。

ストリームガイドウインドウ上部の “URL” “名前” “転送速度” “リスナー” “ジャンル” ラベル欄をクリックすると、右端の三角形のソート順ボタンの向きに応じ、各項目を昇順/降順でソートし、表示順を変更します。



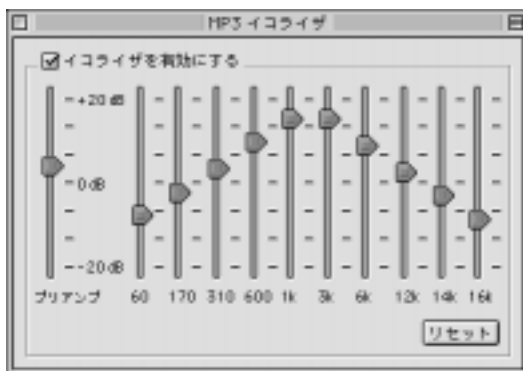
ウインドウ内でコマンドキーを押しながらドラッグすると、ポインタが手のひらカーソルに切り替わり、スクロールアローを使用せずにウインドウをスクロールすることができます。

このウインドウでサーバをダブルクリックするか、プレーヤにドラッグして再生を開始することができます。

人気のあるサーバのリストは5分間隔で更新されていますので、ウインドウを開いて表示した後に最新の情報に更新したい場合は、プレイリストメニューの“ストリームガイドを更新”を選択します。

イコライザ

“MP3 イコライザ” ウインドウを表示します。



イコライザはNETモード/MP3 モードでの MP3 再生時に使用可能です。CD モードでの再生時には有効ではありません。

“イコライザを有効にする” にチェックをすることで、イコライザを使用可能にし、各スライダーを使用してイコライジングを設定します。スライダーによる設定はリアルタイムに再生中の音声に反映されるため、確認しながら好みの設定を行うことができます。

設定を取り消し、初期値に戻したい場合は“リセット” ボタンで設定をリセットします。

第7章 FAQ（よくある質問と回答）

一般：

Q：MacMP3 で市販の音楽 CD から MP3 ファイルを作成し、友人に配ろうと思うのですが何か問題はありますか？

A：個人で楽しむ範囲内で市販の音楽 CD を MP3 ファイルにする場合は問題ないことがほとんどですが、著作権で保護された音源から作成した MP3 ファイルを著作者に無断で配布したり、ホームページに掲載することは著作権法によって禁止されています。ご注意ください。

著作権に関する詳しい情報は、日本音楽著作権協会（JASRAC）のページ（<http://www.jasrac.or.jp/>）をご覧ください。

Q：CD データベース (CDDB) とは、どんなものですか？

A：CD データベース (CDDB) は、インターネット上に存在する CD タイトル、アーティスト名、曲名等のデータベースです。MacMP3 ではこの CDDB に接続することによって、音楽 CD の再生時や MP3 ファイルへのエンコード時にそれらの情報を表示/反映することができます。CDDB にアクセスするためには、インターネットに接続している必要があります。

プレーヤ：

Q：プレーヤが CDDB に接続しようとした際、「Open Transport のエンドポイントが作成できませんでした」というアラートが表示されます。どういう意味ですか？

A：CDDB を検索するためにはインターネットに接続する必要があります。CDDB に接続すべきタイミングに何らかの理由でインターネットに接続できない場合、このようなダイアログが表示されます。インターネットへの接続が可能な環境にない Macintosh で



MacMP3 を使う場合は、編集メニュー内“初期設定”パネルの“ネットワーク”タブで、“CD データベース設定”項目の CD 情報の参照を「常にしない」に設定することで、アラートは出なくなります。また、ダイヤルアップを自動で行う様に設定された環境でプレーヤ起動時に CDDB の検索を行うような設定にしていた場合、自動的にダイヤルアップを開始することがありますので注意が必要です。

Q: 音楽 CD をプレーヤで再生する際 CD データベース (CDDB) に接続しましたが、情報が取得できず“不明な CD”と表示されます。

A: プレーヤの編集メニュー内“初期設定”パネルの“ネットワーク”タブで、“CD データベース設定”項目の CD 情報の参照を“常にする”もしくは“未知の CD の場合”に設定している場合、MacMP3 はマウントした音楽 CD の情報を CD データベース (CDDB) で検索します。この CDDB は全世界に向けられたデータベースのため、日本で発売、発表された一部の音楽 CD の情報は登録されていない場合があり、情報を取得できないことが原因です。今後、CDDB に日本で発売、発表された音楽 CD の情報が増えることで、解決してゆくでしょう。

Q: ひとつのプレイリストに、同じ曲をいくつも登録することはできますか？

A: プレーヤの編集メニュー内“初期設定”パネルの“一般設定”タブで、“プレイリストに同一ファイルを追加しない”のチェックを外しておくことで可能になります。

Q: ひとつのプレイリストに何曲まで登録できますか？

A: 制限はほとんどありません。少なくとも3000曲、合計再生時間にして250時間以上を登録することが可能です。

Q: MacMP3 プレーヤーで CD エクストラの音楽 CD を再生することはできますか？

A: 普通の音楽 CD と同様に再生することができます。なお、エンコードはサポートしていません。

Q: MP3 ファイルを再生させると、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。

A: 処理能力の低いプロセッサを搭載した Macintosh ではそのようなことがあるかも知れません。この場合、仮想メモリを「切」にして再生してみてください。ほとんどの場合回避できると思われます。MacMP3 のコンポーネントは完全なマルチタスクを実現しており、ある程度処理能力の高いプロセッサを搭載した Macintosh では、MP3 ファイルの再生中に他の大きなアプリケーションを立ち上げたり終了したりしても、音が途切れることはありません。

Q: オリジナルのフェイスを作成したいのですがどうしたらいいですか？

A: 今後、ユーザがオリジナルのフェイスを開発するための方法を公開してゆく予定です。詳細はアクト・ツールの WEB サイト (<http://www.act2.co.jp/>) か MacMP3 サイト (<http://mp3.act2.co.jp/>) に掲載される予定です。

Q: プレーヤーの一部が欠けて表示されることがあります。

A: 描画能力の低い一部の Macintosh では、プレーヤーの一部が欠けてしまうことがあるかもしれません。その時は、プレーヤーの編集メニュー内“初期設定”パネルの“アピアランス”タブで、“アルファチャネルの使用”のチェックを外すと回避できる可能性があります。



Q: Windows マシンで作成した MP3 ファイルを MacMP3 で再生することはできますか？

A: 可能です。ただし、Windows で作成された MP3 ファイルには、Macintosh プラットフォーム上で MP3 ファイルだと認識させるために必要な「ファイルタイプ」と「クリエータ」情報が含まれていない場合があります。これらの情報を編集/付与できるツール（File Buddy など）を使用し、タイプを『MP3』（最後に半角スペースが入ります）に編集することで MacMP3 でも再生できるようになります。

エンコーダ：

Q: MacMP3 で作成した MP3 ファイルを、CD-R に保存して CD プレーヤで聞くことは可能ですか？

A: オーディオ CD と MP3 では音声データの規格が全く異なるため、一般のオーディオ CD プレーヤで MP3 ファイルを再生することはできません。強制的に再生を試みた場合、大きな雑音が再生され、耳を痛めたり、スピーカが壊れるなどの音響機器の故障につながる可能性がありますので、絶対に行わないでください。

Q: 音楽 CD をマウントしましたが、CD 名やトラック名が OS 標準の名称になったままです。インターネットに接続できる環境は整っています。

A: “ MacMP3 設定 ” コントロールパネル内 “ CD 情報 ” タブを確認してください。 “ CD データベース (CDDb) ” が “ 使用しない ” に設定されている場合、MacMP3 エンコーダは CDDb に接続し、マウントした音楽 CD の情報を検索することはありません。情報を取得したい場合は “ オンライン時のみ ” もしくは “ 常に ” に設定してください。 “ オンライン時のみ ” に設定されている場合、インターネット接続が確立し、音楽 CD がマウントされており Web ブラウジング等データの転送が行われた段階で CDDb を参照しま

す。インターネットに常時接続されている環境であれば、“常に”に設定することをおすすめします。

Q: 音楽 CD からトラックをドラッグ&ドロップする以外のエンコード方法がありますか？

A: CD トラックをダブルクリックすることでも可能です。その際 MP3 ファイルのエンコード先は、“MacMP3 設定”コントロールパネル内“設定”タブの“ファイルタイプと場所”で設定した“MP3 ファイルのエンコード先”になります。

Q: “MacMP3 設定”コントロールパネルで“オフ”にしたまま、音楽 CD からエンコードすることは可能ですか？

A: 可能です。システムフォルダ内の機能拡張フォルダにインストールされている“MacMP3 エンコーダ”というアプリケーションに音楽 CD のトラックをドラッグ&ドロップしてください。また、“MacMP3 フォルダ”にはこのアプリケーションのエイリアスがインストールされており、そちらへドラッグ&ドロップしても同様の操作が行えます。ただしこの場合、CDDB の情報は反映されません。

Q: CD から MP3 ファイルの作成にはどれくらいの時間がかかりますか？

A: MP3 ファイルの作成にかかる時間は、そのエンコードしようとしている Macintosh の処理速度と CD-ROM ドライブの読み出し速度に深く依存します。

例えば、iMac でエンコードを行った場合、デフォルトの設定ではオリジナルの CD の再生時間の約 1/3 がエンコードに要する時間の目安となります。



Q: 可変ビットレート (VBR) とはなんですか？

A: 通常、MP3 ファイルへのエンコードする際は決められたビットレート (128kbps など) でエンコードしますが、VBR エンコードを有効にすることでビットレートを変化させながらエンコードを行うことができます。音の変化の激しい部分ではビットレートを高くし、無音部分では低くすることで、高い音質を保ちつつファイルサイズの増大を押さえてエンコードすることが可能です。しかし、VBR エンコードされた MP3 ファイルを再生できるプレーヤーはまだ多くありません。

Q: 再生しながら MP3 ファイルへエンコードすると、音が飛んでしまったり、雑音が入ったりします。

A: Play As You Encode™ はエンコードしながら再生することのできる全く新しい技術です。エンコード中のトラックをリアルタイムで再生するため、ある程度の処理能力が必要となります。音が飛ぶ、雑音が入るなどの現象が見られる場合は、再生を伴わないエンコードを行うようにしてください。この設定は、“MacMP3 設定” コントロールパネル内 “設定” タブから “Play As You Encode™” の “エンコード中に再生” のチェックを外すか、エンコード中に表示されるウインドウの “再生する” のチェックを外して行ってください。

Q: MacMP3 でエンコード中に編集した MP3 ファイルのタグ情報が他のプレーヤーで認識されませんでした。何か問題があるのでしょうか？

A: MP3 ファイルを Macintosh や PC で再生する際、ID3v2 タグがプレーヤーに認識されないことがありますが、再生の質には影響はありません。ほとんどの新しい MP3 プレーヤーはタグを正しく読み込みます。この点で問題のある場合は、お使いの MP3 プレーヤーの開発元に連絡してください。

一部のプレーヤー(特に DirectShow ベースもしくは、Microsoft

Media Player より古いプレーヤ)は、ID3v2 タグを含んだ MP3 ファイルを再生できない可能性があります。

Q: ドラッグ&ドロップでのエンコード時に表示される “ MacMP3 エンコード設定 ” ウィンドウを表示させないようにするにはどうしたらいいですか？

A: 左下にある「次からは表示しない」にチェックをすることで、次のエンコードから表示されなくなります。一度この設定を行うと、他の設定パネルなどで再度表示させるように設定することはできません。再度表示させたい場合は、option キーを押しながら CD トラックをドラッグ&ドロップしてください。“ MacMP3 エンコード設定 ” ウィンドウが表示されるので、左下にある「次からは表示しない」のチェックを外すと、次回以降、また表示されるようになります。

Q: MacMP3 をインストールした後、システム起動時にフリーズするようになりました。

A: まず、機能拡張マネージャを使用し、“ MacMP3 機能拡張 ” をロードしない設定で起動した場合は正常に起動できるかどうかを確認してください。この設定で起動できた場合、“ MacMP3 機能拡張 ” が他の機能拡張書類などとコンフリクトしていることが考えられます。可能であれば、何と一緒にロードしたときにフリーズが発生するかを調べ、アクト・ツースポートセンターまでお知らせください。次期バージョン以降の開発に役立てさせていただきます。

なお、“ MacMP3 機能拡張 ” をシステムから外した場合、音楽 CD から自動的に MP3 ファイルを作成することや、エンコード時に CDDb を自動検索することはできなくなりますが、機能拡張フォルダにインストールされている “ MacMP3 エンコーダ ” アプリケーションにトラックをドラッグすることでエンコードが行えます。“ MacMP3 フォルダ ” にはプレーヤなどと一緒に、この “ MacMP3 エンコーダ ” アプリケーションのエイリアスがインストールされていますので、“ MacMP3 機能拡張 ” は外し、エン



コードはこのエイリアスを使用することで、コンフリクトに対処して頂くのも1つの方法です。

Q: MacMP3 で作成した MP3 ファイルを、Windows で聞くことはできますか？

A: 可能です。ただし、Windows では拡張子でファイルを判別するので、エンコード後の MP3 ファイルの名称の末尾に “.mp3 ” という拡張子が付いていることを必ず確認してください。

Q: CD エクストラ (音楽データ以外に、パソコン用のデータも含まれた CD) の音楽 CD から MP3 ファイルを作成することはできますか？

A: MacOS において CD エクストラは音楽 CD としてでなく、パソコン用 CD-ROM として認識されるため、MacMP3による MP3 ファイルの作成 (エンコード) はできません。

Q: 複数枚の音楽 CD 情報を CDDB からまとめて取得することは可能ですか？

A: MacMP3 は、一度取得した音楽 CD 情報をハードディスクに記憶します。ですから、インターネットに接続した状態で一度お手元の CD をすべてマウントし、CDDB から情報を取得しておく、以後それらの音楽 CD を聞いたり、MP3 ファイルを作成する度に取得した情報が反映させることができます。インターネットに常時接続できる環境がない場合に非常に有効です。

Q: エンコード終了と同時に ID3 タグの編集画面が消えてしまい、全ての項目を入力することができませんでした。後から ID タグの情報を変更することはできますか？

A: 残念ながら、MacMP3 では ID タグの編集はエンコード中にのみ

行える仕様となっています。短い曲をエンコードする場合などで全ての項目に入力しきれなかった時は、サードパーティ製の ID タグエディタで編集することができます。これは MP3 ファイルに含まれるタグ情報を編集するためのアプリケーションで、インターネット等で入手できます。

Q: インターネット上から入手した合法的な MP3 ファイルを MacMP3 で再生しようとしたが、「MPEG オーディオファイルではありません」というアラートが表示され、再生できません。

A: MacMP3 のプレーヤを使うと、MacMP3 以外で作成された MP3 ファイルも再生することができます。しかし、ごく稀に再生できないファイルがあるかもしれません。その理由として、何らかの理由でその MP3 ファイルが壊れてしまった可能性が考えられます。MP3 ファイルの公開者もしくは作成者に問い合わせるか、もしくは他の MP3 ファイルでお試してください。

その他：

Q: StuffIt Deluxe や DropStuff で MP3 ファイルを圧縮しましたが、全く圧縮されませんでした。なぜですか？

A: MP3 の魅力は音質が CD 並みに良いにもかかわらず、ファイルサイズが非常に小さいということです。これは、MP3 は圧縮を供なって作成されるフォーマットであることを意味します。一般的に、既に圧縮されたフォーマットのファイル（JPEG 画像等）を圧縮してもほとんど効果が得られませんが、MP3 ファイルも同様だと考えてください。

Q: シリアル番号を入力してもインストールできません。

A: まず、シリアル番号は半角文字で入力されていますか？シリアル番



号は、ユーザ登録カードに記載されたシリアル番号を半角文字で正しく入力してください。また、“会社”欄は空欄でもかまいませんが、“名前”欄には必ず3文字以上入力していただく必要があります。それらのことを確認してもシリアル番号が入力できない場合は、弊社テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

第 8 章 テクニカルサポート

■ ユーザ登録

ご購入後、速やかにユーザ登録を行ってください。登録を済ませた正規ユーザの方には、ユーザサポート、テクニカルサポート、アップグレードなどのサービスを提供させていただきます。登録されていない方はこれらのサービスを受けられない場合がございますのでご注意ください。

■ 登録方法

パッケージに同梱されている「ユーザ登録カード」に必要事項をご記入の上、郵便にてご返送ください。必要事項にご記入漏れ、書き間違いなどあった場合、ご登録できない場合がございますのでご注意ください。

■ サポート窓口

アクト・ツー サポートセンター

URL	http://www.act2.co.jp
e-mail	support@act2.co.jp
FAX	03-3328-8454
TEL	03-3328-8431
	受付電話時間
	祝祭日を除く平日 10:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 16:00



■ サポートセンターへのお問い合わせ

このガイドに記載されている情報で解決できない問題が発生した場合、下記の情報をご用意の上、サポートセンターへご連絡ください。

- ☐ ユーザ ID
- ☐ 製品名ならびにバージョン番号
- ☐ 製品の登録番号（シリアル番号）
- ☐ お使いの Macintosh の機種名
- ☐ お使いの Mac OS のバージョン
- ☐ 搭載メモリ容量
- ☐ お客様のご連絡先
- ☐ 問題の発生手順
- ☐ 関連があると思われる周辺機器の種類、型番
- ☐ 最近インストールしたソフトウェア

お電話でご連絡頂く場合、可能であれば Macintosh を操作できる状態でご連絡ください。